



# 明治150年 米の流通に関するアーカイブ

公益社団法人米穀安定供給確保支援機構

カテゴリー	生産		
-------	----	--	--

- 【種別】 図書(版本)
- 【資料名】 豊稼録
- 【巻次】
- 【副題】 勸農叢書
- 【記録年】 文政7年(初版)
- 【刊行年】 文政9年(再版)
- 【編著者】 大蔵永常
- 【出版所】 江戸書物問屋 和泉屋右金衛門
- 【寸法】 縦22.5cm 横15.5cm 頁/本編13丁・附録12丁

## 【表紙】



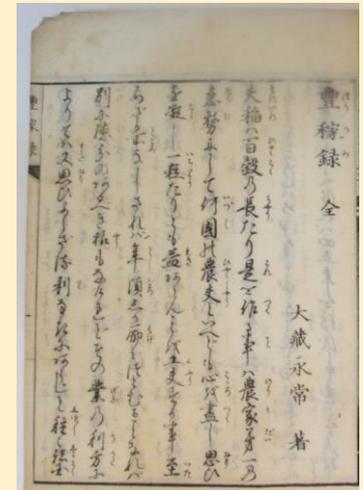
## 【略説明】

宮崎安貞・佐藤信淵とともに江戸時代の三大農学者として評価される大蔵永常(おおくらながつね)が、文政7年(1824年)に著した農書の文政9年(1826年)の再板(再版)。

本編では、当時は主流ではなかった掛け干し乾燥の利点を説いている。また附録では永常が各地で見聞した苗代、畠稲(陸稲)、農具などについてのレポートとなっている。

なお同資料は国会図書館にもデジタルアーカイブとして公開されている。

## 【本編】



## 【注記】

大蔵永常(1768~1860)は江戸時代の農学者でありながら、当時の主作物であるイネよりも工芸作物の栽培を重視していた。米は年貢として農家の手元には多くが残らないため、農家の収入を増やすための方策として、工芸作物を奨励したからである。このことは、農業と工業と商業を結びつける視点として、現在の6次産業化を200年前に先取りしていたことになる。

史料の所蔵元である静岡県農林技術研究所では農業資料館展示室を併設している。そこでは江戸時代から昭和にかけて実際に使用された農具、民具、生活用品のほか農業に関する史料などを多数収集・展示しており、無料で見学することができる。大蔵永常は弘化1年(1844年)に浜松藩に出仕しており、同資料館が所在する磐田市とも縁が深い。

- 【所蔵機関】 静岡県農林技術研究所農業資料館展示室
- 【住所】 静岡県磐田市富丘678-1
- 【連絡先電話番号】 0538-36-1553
- 【所蔵URL】 <http://www.agri-exp.pref.shizuoka.jp/>
- 【閲覧】 常設展示(入館無料) 開館時間: 平日9時~16時30分まで。  
休館日 : 土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日及び年末年始
- 【所蔵機関】 国立国会図書館 (12月28日~1月4日)
- 【住所】 千代田区永田町1-10-1(東京本館)
- 【連絡先電話番号】 03-851-5484
- 【公開URL】 <http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/839827>